

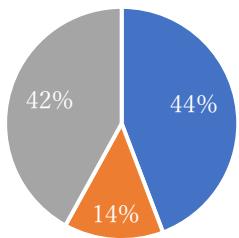
# 2025年 AIに関するアンケート

回答期間：2025年11月7日～11月21日

送信先：日本人間ドック・予防医療学会の医師・コメディカル・施設会員（7,506会員）

回答数：355件

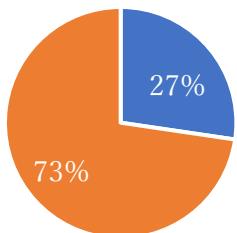
## 回答者職種内訳



■ 医師 ■ 医師以外の専門職 ■ 事務職

## a) 画像系AI（X線画像、CT画像、MRI画像、内視鏡画像など）について

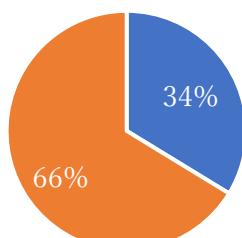
1) 画像系AIをすでに導入していますか



■ はい ■ いいえ

※1) でいいえを選択した方

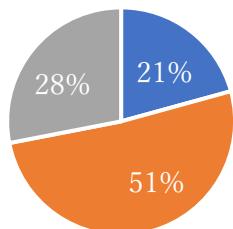
2) 画像系AIの導入を考えて検討していますか



■ はい ■ いいえ

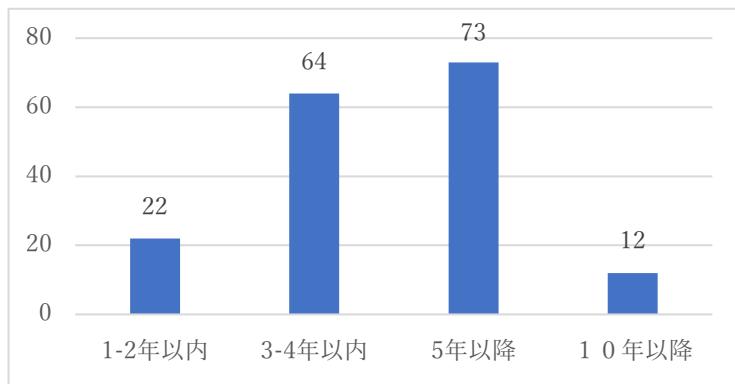
※「導入を(検討)していない」と選択した方

3) 画像系 AI に関して興味はありますか



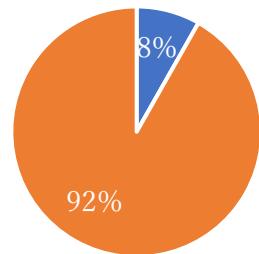
■ 大変ある ■ まあまあある ■ どちらでもない

4) 健康診断に画像系 AI が本格的に利用されるのはいつごろと考えられますか



b) 診断系 AI (疾患診断、発症予測、レポート作成、生活指導など) について

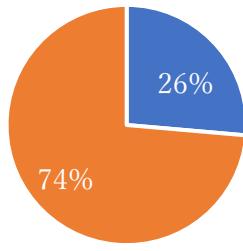
1) 診断系 AI をすでに導入していますか



■ はい ■ いいえ

※1) いいえを選択した方

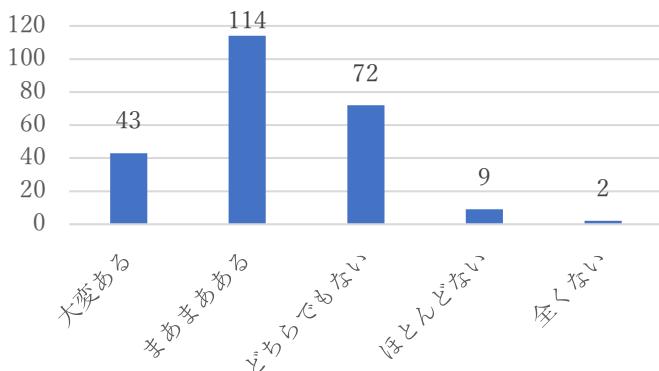
2) 診断系 AI の導入を考えて検討していますか



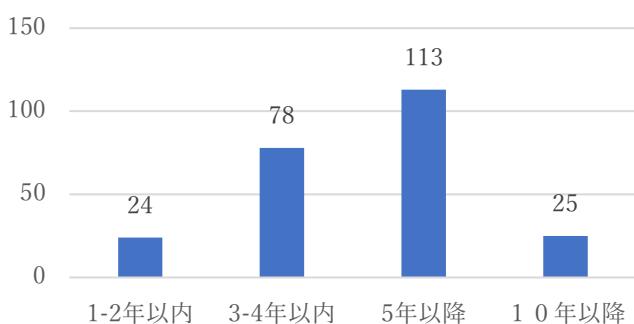
■ はい ■ いいえ

※「導入を(検討)していない」と選択した方

3) 診断系 AI に関して興味はありますか

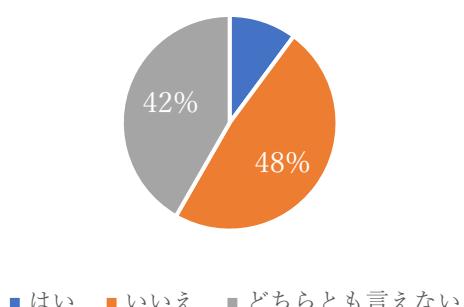


4) 健康診断に診断系 AI が本格的に利用されるのはいつごろと考えられますか

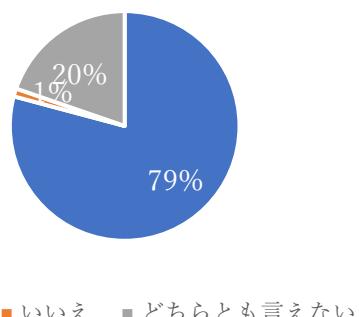


c) AI に対するイメージについて

1) 医師もしくは保健師の仕事を奪う可能性があると思いますか



2) 医師もしくは保健師の仕事を楽にしてくれる可能性があると思いますか

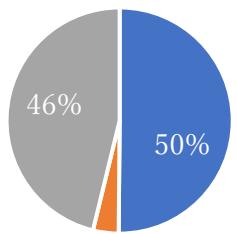


3) 事務手続きなどを簡素化してくれると思いますか



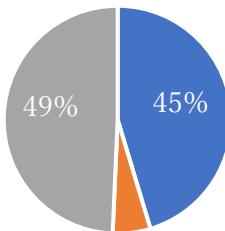
■ はい ■ いいえ ■ どちらとも言えない

4) 費用対効果が長期的にはあると思いますか



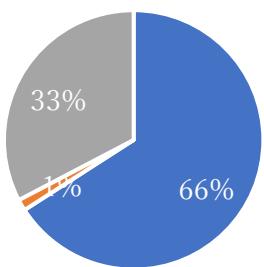
■ はい ■ いいえ ■ どちらとも言えない

5) 顧客満足度を改善もしくは顧客にアピールする効果があると思いますか



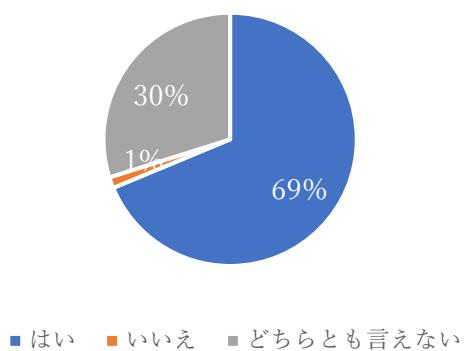
■ はい ■ いいえ ■ どちらとも言えない

6) 診断の正確性を増し、医療安全につながる可能性があると思いますか

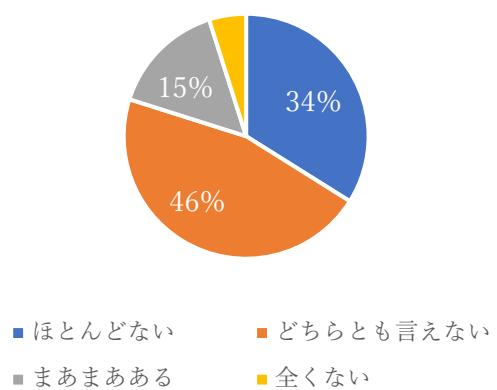


■ はい ■ いいえ ■ どちらとも言えない

7) 生活指導やフォローアップに役立つ可能性があると思いますか

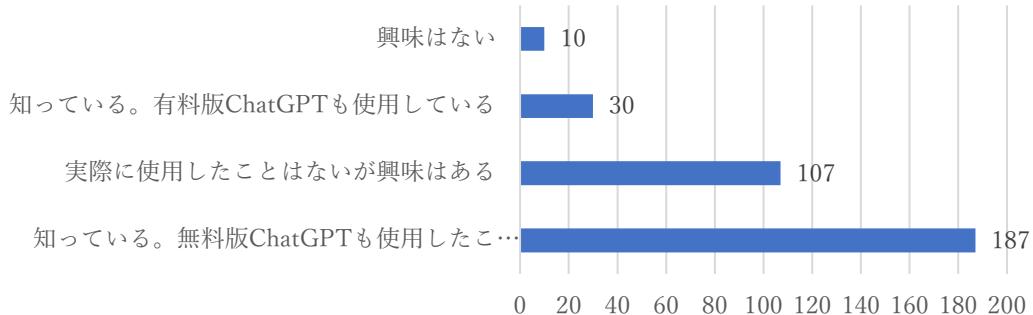


8) AI そのものに違和感や不信感をもっていますか

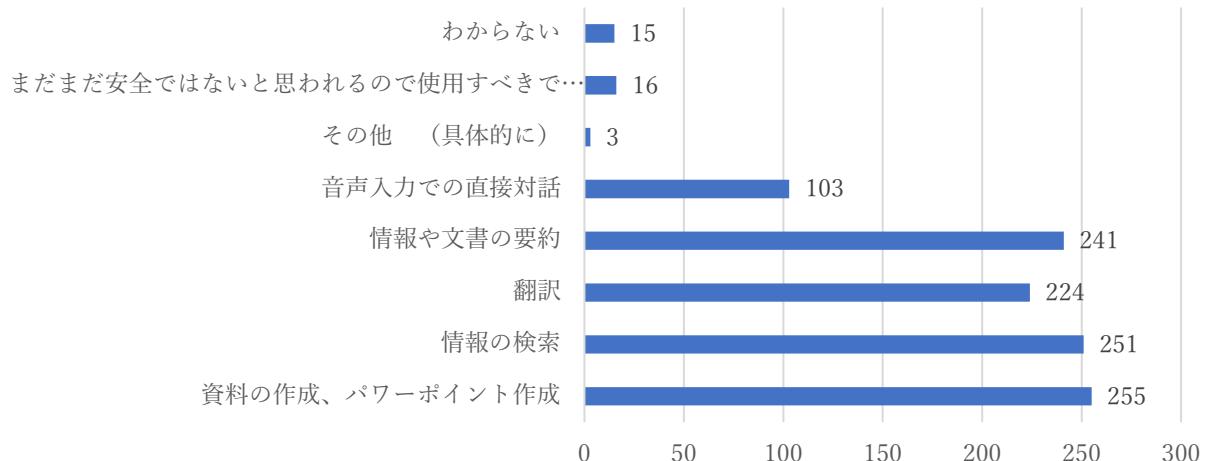


#### d) ChatGPT などの生成 AI について

1) ChatGPT などの生成 AI についてご存知ですか



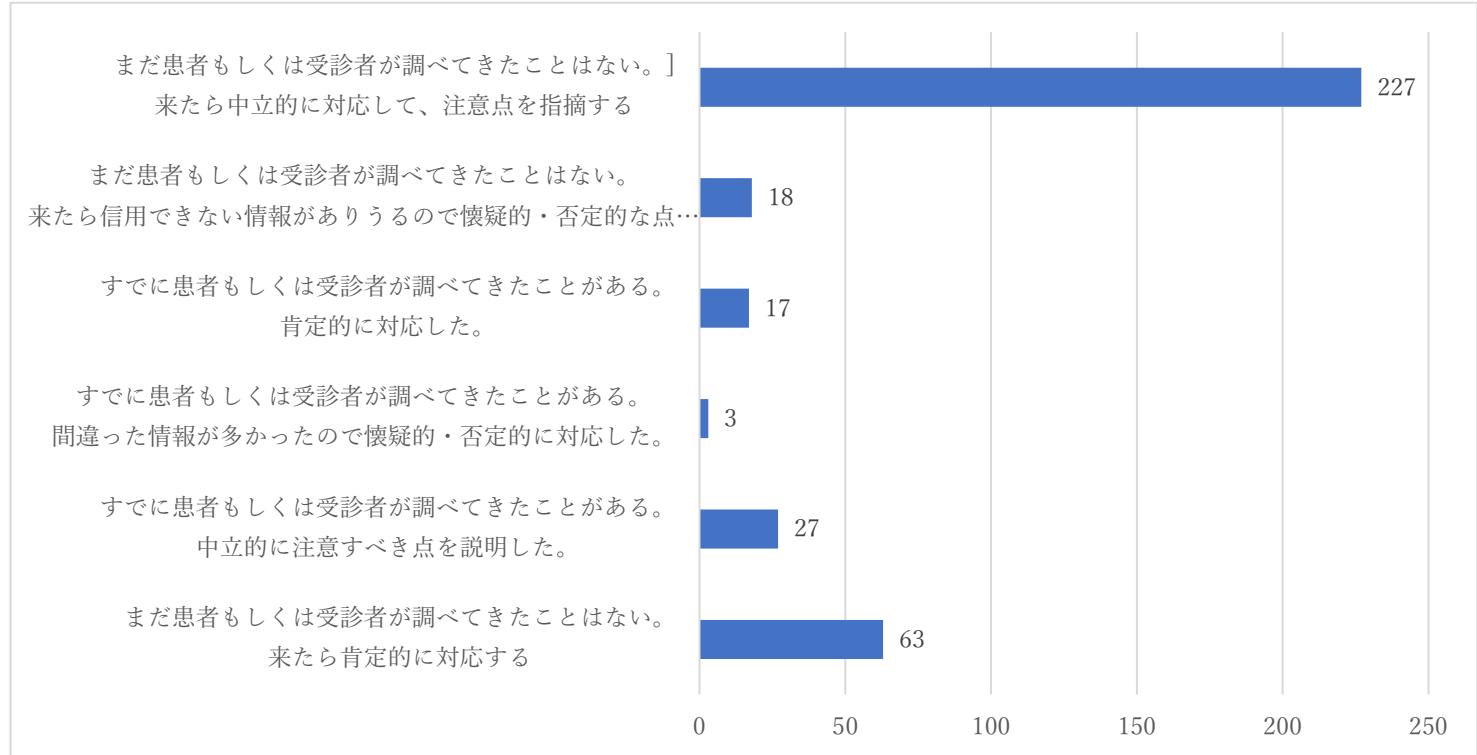
2) ChatGPT などの生成 AI を医療者が使うことに関して、良いと思われる項目もしくはお考えについて（複数回答）



### (その他の意見)

- ・ホームページでチャットボットによるFAQ対応
- ・日本語の正しい言い回しについて
- ・診断・治療の補助（将来性）症状や検査データに基づき、考えられる鑑別診断のリストアップや、治療法の選択肢を提示させることで、医師の意思決定をサポートできる可能性があります。（※最終的な判断は必ず医師が行う必要があります）
- ・受診者さんとのコミュニケーション改善、専門用語が多い医療情報を、患者さんやそのご家族にも理解しやすい平易な言葉で説明する文章を作成する手助けになります。

### 3) ChatGPTなどの生成AIを患者もしくは受診者が使うことに関して、経験されたことやお考えに関して



e) 今回の企業展示のAI利用に関して（企業説明スライドをご覧ください）

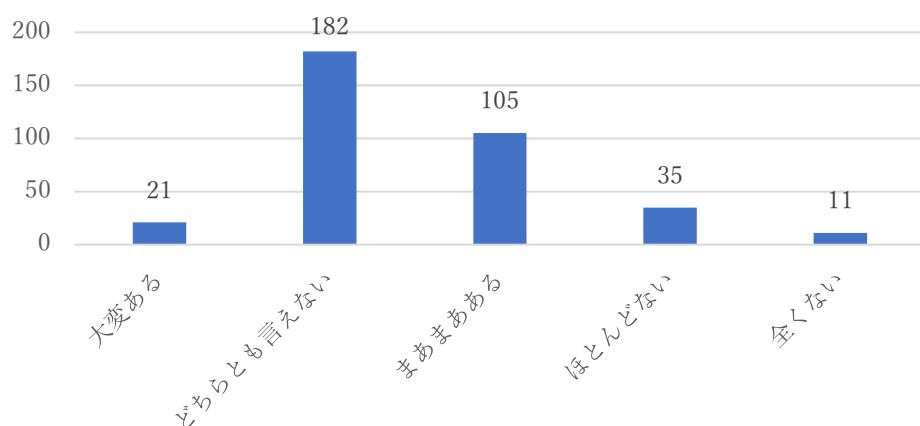
1) 医療サービスにはAI利用は必須だと思われますか



2) AIを利用している医療サービスの方が信頼できると思いますか



3) AIを利用しているかどうかという点は医療サービスを選択する基準になりますか



f) 今回、大会1日目と2日目に開催された出展企業プレゼンテーション

1) 参加の有無

